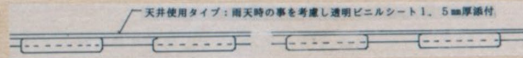
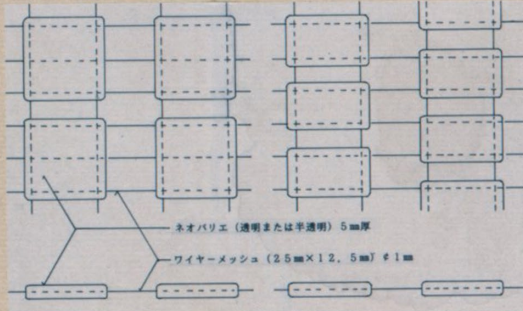


柔らかいネオパリエ、 「ネオパリクロス*」の提案

* 表1(a)のように様々な形状を彫り出すことができる意味とワイヤメッシュ材とネオパリエを重ね合わせた(a)(b)の意味から名付けた。

ネオパリエはもはや単に堅い壁材という概念を越え、衣の様に柔軟で、宝石の様な輝きを持つ、汎用性の高い素材であるということが、このシンプルなワイヤメッシュと出会うことによって証明されたのである。

標準タイプは図に示したが、使用内容によって、様々な寸法がありうるし、またワイヤメッシュも六角形等、様々なタイプと合わせることが考えられる。ここで意図したことは、ワイヤメッシュの可塑性とネオパリエの優れた特質を合わせる事により、ここに示す多様な魅力的な使われ方が考えられるという点にある。

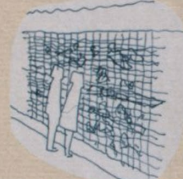
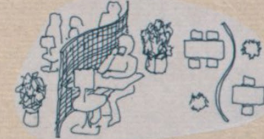
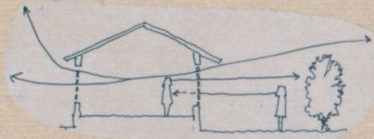
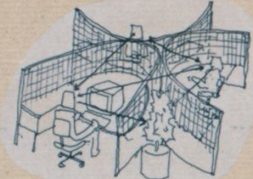


■デザインプロセスについて

このプロジェクトは、内容が決まってからデザインしたのではなく、**体験**を通じて内容を発展させていく非常に慣用的なプロセスでデザインをした。まずは従来のネオパリエの堅いイメージを崩して柔らかくするにはどうすればよいかを考えた。ワイヤメッシュと合わせる事を思い付き、ネオパリエの代わりにレンガを使ってきつそく厚く制作する。制作中にも色々なアイデアが生まれる。出来上がって実際に手にしてみると意外と柔軟であり、様々な形状ができることを発見。これは規則、これは椅子、これは照明器具と色々とアイデアが浮かんできた。これを実際の現場と重ね合わせるとどうなるか考え、実際に住宅街、公園、繁華街に持ち歩き試してみた。そうすると意外な発想が得られるのである。不思議がって話し掛ける人もいる。人の意見が聞ける良いチャンスである。最初から内容が決まっている所謂慣用的なプロセスは、その時に限定され新たな発想に出会う機会を失っているのである。



公園に置くくと芸術性の高いりっぱなオブジェ。



「新しいオフィス開仕切りを取り入れたらよいが、誰が何をしているか見えないと何か不安なんですよ。やはり日本人なのでしょかねえ」ネオパリクロスはパーソナルスペースの確保と同時に、材料を通してある程度の視線が得られる素材。



もう少し大きいサイズを大きくすると、遊場のジャンケルゲームも利用できる。何か透明の石畳を昇っている気分。



家の窓に用いると、中からは外の景色が見えるが外からははつきり見えないという視覚効果が期待できる。もちろん通風は最高。



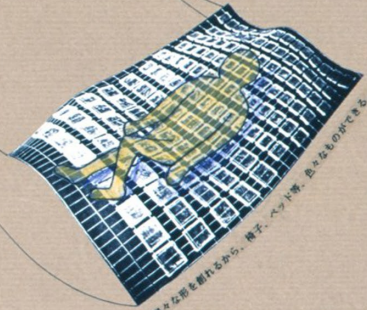
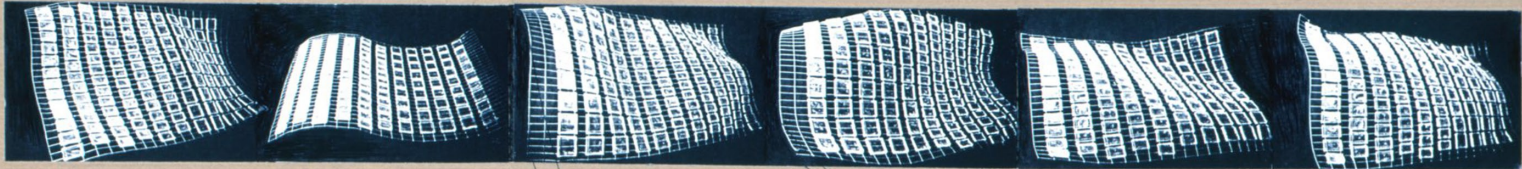
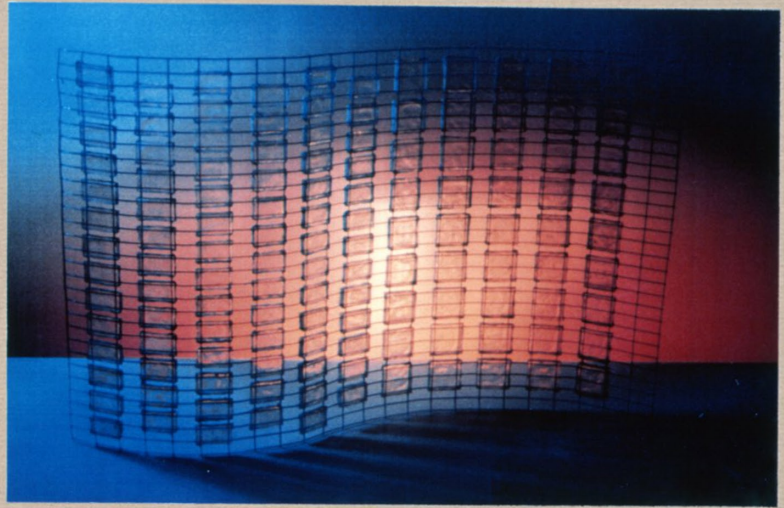
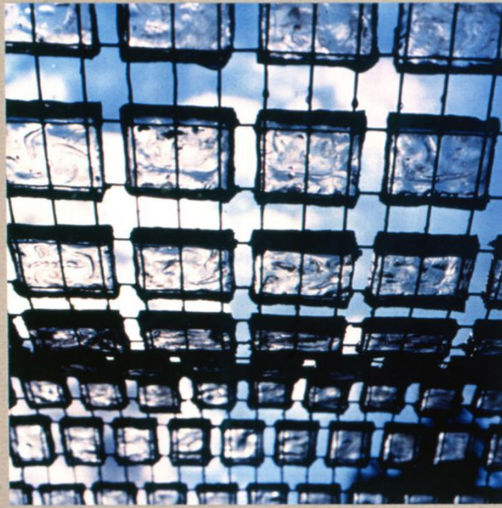
バス停留所の屋根に用いると、自然光いっぱい明るい停留所ができる。ネオパリクロスに反射した光はとっても美しい、バスを持つ時間を忘れそう？



何で喫茶店のテーブル仕切りでシャレタものはないのか。ネオパリクロスはどんな形のものも制作でき、配置が変わった時にも容易に形を変えることができる美しくモダンな素材。



ショーケースに用いれば、中の展示物によって意外な効果が出る。閉店後も中を見せておきたい場合のシャッターにも利用。



様々な形を組めるから、椅子、ベランダ、傘などのができる。



なぜ電話ボックスは暗くて閉鎖的なのか。ネオパリクロスはこれらを同時に解決。

